

S02a **BL Lac object 0716+714 の可視領域での偏光、測光観測**

中尾信明、吉田勝一、大杉節（広島大理）

電波領域から TeV ガンマ線を放出しているブレイザーの放出機構を明らかにするために我々は、岡山物理天体観測所の 91cm 望遠鏡にとりつけた OOPS という偏光撮像観測のできる装置を用いて、BL Lac 天体である S5 0716+714 の可視光領域における測光、偏光観測を 3 週間にわたって行った。その際、 $R(\lambda_{center} = 6400\text{\AA})$ と $V(\lambda_{center} = 5450\text{\AA})$ の 2 色のフィルターを用いて色の変化も観測した。光度は 1 日でファクター 2 以上の変化が観測され、光度曲線は、サインカーブというより、直線的な変化を示した。色と光度については相関がみられ、明るい時ほど、青いという結果を得た。光度の変化は、V が R より、わずかに先行して変化していることも観測された。偏光度も 1 晩で、10% 以上変化することもあり、激しい変動をしていることが観測された。偏光は、2 日程度のタイムスケールで変動しているようである。本講演では以上の観測についての詳細を発表し、考察を行う。